

日常に潜む危険チェックシート(4)「休み時間の教室」

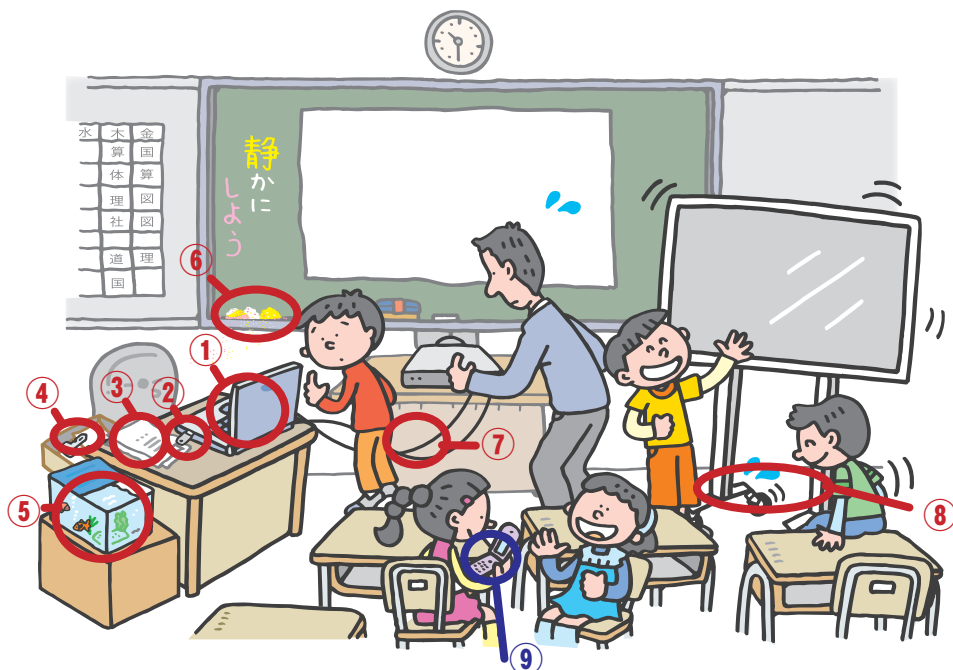


休み時間の教室。
先生が、次の授業で使う
ため、プロジェクタなどを
準備しています。
先生のパソコンには授業
で使うデータや、成績など
の情報が入っています。

イラストの中には、情報
漏えいの可能性がある
もの、情報やICT機器を、
安全、便利に使えなく
なってしまう可能性がある
もの、合わせて8箇所の
危険があります。

Copyright (c) ISEN. All rights reserved.

日常に潜む危険チェックシート(4) 解答編



■危険な可能性

- ①開いたままのパソコン
子どもが中のファイルを覗く
いたずらをしてしまう
- ②挿しっぱなしのUSB メモリ
紛失する、子どもが持っていってしまう
- ③机の上に置かれた書類
子どもに書類が見える、紛失する
- ④カギが開いた机の引き出し
中身を子どもたちに読まれる、
カギ・書類を紛失してしまう
- ⑤書類のそばの水槽
水槽に書類が落ちてしまう
- ⑥山になったチョークの粉
パソコンに入り込み、故障してしまう
- ⑦長いコードでつないだプロジェクタ
子どもが転んでしまう、
プロジェクタ、PC が破損してしまう
- ⑧固定されていない電子黒板
ぶつかりけがをする、破損してしまう

■ 解説

先生が、授業の準備に気を取られています。そんなときの「ついうっかり」や「不注意」が事故を生む可能性があります。しまうべきものはしまう、子供たちの動きに気を配るなど、気をつける必要があります。「大切な機密情報を守る」だけでなく、「情報を使いたいときに使えなくなってしまう」ことも避けなければなりません。

また、最近の学校では電子黒板などの、大きな機材の導入が進んでいます。情報漏えいだけでなく、子どもたちの安全など、基本的なことにも配慮する必要があります。

■一概に「危険」とは言えないが、
ぜひ考えていただきたいこと

- ⑨子どもが休み時間に携帯電話を利用
学校における携帯の利用ルールなど、
情報モラルについて考える必要がある